

第 50 回むさしのジャンボリーの開催中止について

令和 6 年 7 月 20 日（土）から実施予定であった第 50 回むさしのジャンボリーは、開催地である長野県川上村の「武蔵野市立自然の村」において、開催当週に複数のツキノワグマが頻回に出没したことを受け、安全面の懸念から開催を中止したので、その経緯について報告する。

1 武蔵野市自然の村における熊の出没状況とむさしのジャンボリー中止までの経緯

7 月 13 日（土）

- ・よたか橋直下の沢沿いに設置したトレイルカメラに小熊の姿が映っていることを確認。
→撮影日時を調べたところ、7 月 5 日（金）の映像と判明。

7 月 14 日（日）

- ・午前 11 時頃、中央棟 7 号室を清掃中に窓越しに鹿柵の奥を小熊が走っているのを目撃した、と現地スタッフから野外活動センターに連絡あり。

7 月 16 日（火）

- ・児童青少年課職員等による開設準備期間がスタートし、職員を現地に派遣。キャビン地区において熊らしきものの痕跡を発見。
- ・金峰山荘への聞き取りから、廻り目平付近でも 7 月に入ってから頻回に熊が出没しているとの情報を得る。

7 月 17 日（水）

- ・青少協各地区委員会に熊の出没状況を周知。村内及びハイキングコースである廻り目平付近にも頻繁に出没しているため、慎重に検討していく必要がある旨を周知。
- ・野外活動センター職員が調査のため現地に赴く。

7 月 18 日（木）

- ・野外活動センターにおいてトレイルカメラの直近の映像を確認したところ、7 月 15 日（月）夜の映像で中央棟至近に設置しているカメラに成獣、キャビン地区テントサイトに設置しているカメラに子熊の姿を確認したと報告あり。
→自然の村内に少なくとも 2 頭以上のツキノワグマが居ついていると推測できる状況。
- ・理事者を交えて庁内で協議した結果、この状況では参加者の安全確保が難しいと判断し、各地区委員会に開催中止を打診する連絡を入れることとする。
- ・各地区委員会に市としては開催中止すべきと考えていることを打診。
- ・庁内にて中止を正式決定し、市長名にて「第 50 回むさしのジャンボリーの中止について」の文書を発出。

（裏面あり）

7月25日（木）

- ・児童青少年課及び野外活動センター職員にて自然の村に出張。
- ・トレイルカメラを確認したところ、7月24日（水）に24号キャビン裏に熊（不明瞭だが、これまでの2個体とは別個体）を確認。

8月7日（水）

- ・児童青少年課及び野外活動センター職員にて自然の村に出張
- ・トレイルカメラを確認したところ、前回(7月25日)から今日までの映像に熊は確認できなかった。

2 当面の対応策

- ・現地の複数人スタッフによる毎日のパトロール及び林縁部での爆竹の発破
- ・熊忌避剤の設置
- ・テント場や、キャビン周辺のヤブ刈りの徹底
- ・トレイルカメラの確認頻度増加

3 令和7年度に向けた対策案

熊が施設内に寄り付かないための対策を検討中

担当課 子ども家庭部児童青少年課